

団体名		公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団						
事業	① 指標名	お客様満足度の向上			目標値	体育施設事業の参加者の平均満足度、武蔵野プレイス・吉祥寺図書館・自然の村のモニタリング総合満足度 いずれも 90 %以上	実績値	①体育施設事業 91.9% ②プレイス 95.9% ③吉祥寺図書館 88.6% ④自然の村 97.1%
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成率	75.0%	達成状況	未達成
	(単位: %)	体育施設事業92.6% 武蔵野プレイス91.8% 自然の村95.5%	体育施設事業91.9% 武蔵野プレイス96.5% 吉祥寺図書館86.3% 自然の村97.2%	体育施設事業90.8% 武蔵野プレイス95.8% 吉祥寺図書館83.9% 自然の村92.3%				
	取組内容	※R2年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 体育施設ではスポーツ教室・イベントすべてにおいてアンケートを実施している。「満足度」だけではなく「初参加者の割合」「出席率」「応募倍率」「身体・生活に良好な変化があった人の割合」「交流の広がりがあった人の割合」「活動の継続を希望する人の割合」「参加者の負担率」「非営利組織による同様事業の実施状況」「営利団体による同様事業の実施状況」「情報取得源」など多岐にわたる観点から事業評価を行い、得点化して事業の見直しを常に実施している。武蔵野プレイス及び吉祥寺図書館でも同様の分析を行い高評価を得ているが、事業参加者以外の来館者の声を重視してモニタリングの総合満足度を目標値としている。また、「利用者からの声」については、施設からの回答と合わせて、随時館内に掲示している。自然の村においては、利用者意見等について現地スタッフとの調整を適宜行い、柔軟かつ素早い対応を行うとともに、備品等の要望についても可能な範囲で設置をしている。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 令和2年度は、コロナ禍における運営となったため、体育施設事業（スポーツ教室事業）は事業計画の約30%（43教室）の実施にとどまった。モニタリング調査についても、感染防止対策を実施中での満足度を諮るものとなった。安心・安全な施設・事業運営を継続するために、お客様満足度の向上に努める。						
二次評価	目標は達成とならなかったが、4施設中3施設が90%以上の満足度を得ていることや、吉祥寺図書館の満足度が昨年度より向上していることは評価できる。引き続き、コロナ禍における施設運営となるが、感染症対策を行いつつ、安心・安全な施設運営により、お客様満足度の向上に努めていただきたい。							
財務	② 指標名	自主財源の確保			目標値	参加料収入等 21,200千円 (16,600千円)	実績値	参加料収入等 10,584千円 (3,623千円)
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成率	49.9%	達成状況	未達成
	(単位: 千円)	44,102千円 (34,015千円)	42,758千円 (31,120千円)	37,381千円 (25,764千円)				
	取組内容	※R2年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・基本財産の運用は、安全で確実かつ有利な方法で行ってきた。 ・コロナ禍での参加者数の制限等により自己負担比率の低下が見込まれた。参加者への付加サービス（消毒等）も増えるため、過度な負担増とまらない範囲での参加料の見直しについても検討したが、実施は見送った。（カッコ内は事業参加料のみの数値）						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 令和2年度はコロナ禍における、各施設の休場・休館、利用時間短縮、利用人数制限、事業の中止の影響を受け、事業参加料は前年度比約86%減（25,764千円→3,623千円）、業務委託収入は約56%減（7,040千円→3,098千円）となった。（基本財産運用収入は満期を迎えた債権の買替えのため約16%減（4,576千円→3,862千円））。特に事業の中止や参加定員の制限の影響が大きい。当面は、感染拡大防止の対策をとったうえで実施する事業の収支を検討する。						
二次評価	新型コロナウイルス感染症拡大による各施設の休場・休館、利用時間短縮、利用人数制限、事業の中止等の影響が大きかった。新型コロナウイルスの影響は当面続くことが想定されるため、引き続き、感染症対策を行ったうえで実施する事業の収支について検討していただきたい。							
内部	③ 指標名	(公財) 武蔵野文化事業団との統合に向けた具体的項目の検討・調整			目標値	統合に係る具体的項目についての整理・調整の完了	実績値	統合に係る具体的項目についての整理・調整の実施
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
	(単位: )	-	-	統合検討委員会による検討				
	取組内容	※R2年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 両事業団の職員で構成される合併準備会に、「総務・管理」「例規・要項」「広報」「情報基盤・施設予約システム」「人事管理システム」「経理」の6部会を設置し、検討を進めた。 ・進捗状況について、適宜、市及び教育委員会に報告し、調整、協議を行いながら進めている。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 合併準備会は8回実施した。6部会も定期的に開催し、東京都への認定申請にむけた準備、情報基盤・予約システムの更新、ホームページの更新のための作業等を進めた。進捗状況等は合併準備支援庁内連絡会議他により、市及び教育委員会に報告し、協議を行った。						
二次評価	両事業団の合併に向け、合併準備会や6部会の設置により、様々な調整や準備等を進めたことを評価する。合併によりさらなる市民サービスの向上につながるよう、令和4年4月の合併に向け、引き続き両事業団職員の意識の醸成を図りながら、様々な検討や調整を進めていただきたい。							